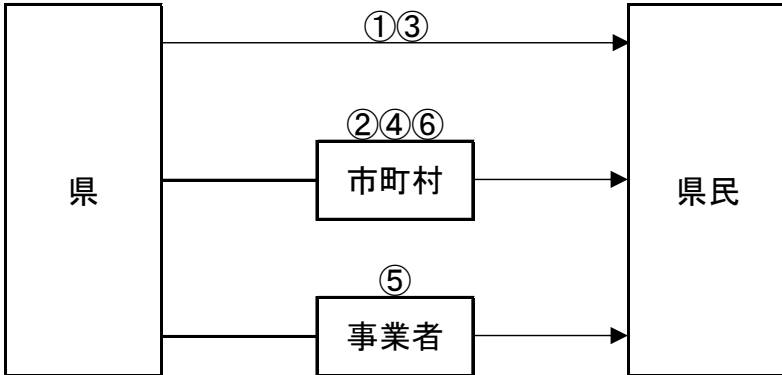


事業概要：自然と健康になるまちづくり
（ポストコロナにおける新たなふくおか健康づくり県民運動）

継続

申請者	福岡県					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	610,441千円 (61,691千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	①働く世代の歩数を日常生活の中で増やすための環境を整備。 ②市町村が実施する健康教室を社会参画の場として活用することを支援。 ③産学官の協議会を設置し、健康関心度に関わらず減塩ができる環境を整備。 ④国民健康保険のデータ分析結果等を活用し、訴求力の高い健（検）診の受診を勧奨。 ⑤県内中小企業の働き方改革や健康経営を推進し、中小企業における魅力ある職場づくりを推進。 ⑥スポーツ推進委員を健康教室のインストラクターとして養成するなど、スポーツ推進委員の活用を推進。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 働く世代が日常生活で運動しやすいよう、通勤・休憩時間を活用した歩数増加を促すキャンペーンを実施。高齢者向けには健康教室の開催を支援し、社会参加につなげる。特定健診受診率向上のため、産学官連携で内食・中食の減塩を推進し、自然と健康になる環境整備を行うとともに、健診未受診者にはナッジ理論を活用した効果的な受診勧奨を実施。また、県内企業への健康経営普及を通じて魅力ある職場づくりを支援し、市町村スポーツ推進委員を活用した地域スポーツの振興を図る。					<事業イメージ> 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ①キャンペーン実施費（委託料）5,425千円 ②健康教室を活用した高齢者の社会参画推進（補助金）13,212千円 ③企業等と連携した減塩推進事業普及啓発（委託料）31,435千円 ④エビデンスに基づいた健（検）診受診勧奨事業（委託料）1,320千円 ⑤健康経営認定制度運営費（委託料）6,718千円 ⑥スポーツ推進委員活用促進事業（補助金）381千円						
主なKPI	①成人のスポーツ実施率（週1回以上運動またはスポーツを実施している者の割合）（+10.1%） ②「ふくおか健康ポイントアプリ」利用者の平均歩数（+2,850歩） ③特定健診実施率（+25.2%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

事業概要：環境負荷低減の取組による「環境に配慮した持続可能な福岡県の農林水産業」の実現

旧制度（推進）

申請者	福岡県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	396,279千円 (76,858千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	・農林水産業における生産、加工、販売の各段階において、脱炭素化やロスの削減、低コスト化といった環境負荷低減の取組を実施することで、本県の農林水産業が環境に配慮した持続的な産業へと成長。 ・環境に配慮した持続可能な農林水産業を支える土台となる農山漁村が維持・発展。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 環境に配慮した持続的な農林水産業の成長に向け、農林水産業における生産、加工、販売の各段階において、脱炭素化やロスの削減、低コスト化といった環境負荷低減の取組を実施する	   	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○環境に配慮した持続可能な農林水産業の推進 ・食肉生産の効率化や輸送等のコスト低減 （補助金等）26,813千円 ・新品種・新技術の導入による環境負荷およびコストの低減 （補助金、委託料等）15,525千円 ・資源の有効活用に向け、冷凍水産物の開発による低利用魚等の活用推進（補助金）1,006千円 ・炭素固定に重要な役割を果たす県産木材の活用と森林保全の推進（委託料、補助金等）31,505千円 ○持続可能な農林水産業を支える農山漁村、漁場の活性化 ・野生鳥獣捕獲の推進による農山漁村の維持 （委託料、補助金） 2,009千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①県産農林水産物産出額（+1.5億円） ②藻場の保全面積（+17.20ha） ③有害鳥獣の捕獲者数（+90人）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL 令和8年9月公表予定

事業概要： FUKUOKA IS OPEN～選ばれる福岡県を目指し、新しい扉を開く～

旧制度（推進）

申請者	福岡県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	186,734千円 (59,225千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・海外人材が長期にわたって活躍することができる適正な労働環境の整備を図る ・留学生をはじめとした高度人材の県内就労促進を図る ・世界から海外人材を呼び込むことで、成長著しいアジアを中心とした海外の活力を本県に取り込み、ともに発展していくことで、「世界から選ばれる福岡県」の実現を目指す		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「世界から選ばれる福岡県」の実現に向け、海外人材が安全・快適に暮らし、働きやすく、地域社会に参画しやすい環境を整備する事業を実施する。	海外人材獲得促進強化事業 金融機関をはじめとした海外企業誘致事業 「世界から選ばれる福岡県」の実現 アントレプレナーシップ人財育成事業 特定技能外国人材等の確保・定着に係る最新の法令や在留資格等についての周知・啓発事業	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○海外人材獲得促進強化事業 ・トライアルインターンシップ等の実施（委託料）22,557千円 ○金融機関をはじめとした海外企業誘致事業 ・海外における誘致活動の実施（委託料）9,504千円 ○アントレプレナーシップ人財育成事業 ・グループワーク、企業訪問等の実施（負担金等）14,449千円 ○特定技能外国人材等の確保・定着に係る最新の法令や在留資格等についての周知・啓発事業 ・特定技能外国人材受入相談窓口の設置（委託料）9,479千円 ・企業向け講習会の開催（委託料）1,753千円 ・出張相談員による企業訪問の実施（委託料）422千円 ・専用ホームページの運営（委託料）1,061千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①県内外国人労働者数（+16,637人） ②留学生の県内就職者の増加数（+5,310人）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL 令和8年9月公表予定

申請者	福岡県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	552,500千円 (192,952千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	「デジタル人材育成支援」、「デジタル技術開発支援」、「DX化の伴走支援」の総合支援策を通じて、福岡県内の中小企業が、自立したカイゼン及びDX化に向けた取組の継続により競争力を強化し、飛躍的な収益力向上につなげ、持続的賃上げ等を実現する好循環を創出する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、「福岡県工業技術センター」「公益財団法人 飯塚研究開発機構」「福岡県中小企業DX推進センター」を核に、連携を通じて強み・弱みの相互補完と情報共有をし、「人材育成支援」、「技術開発支援」、「DX化の伴走支援」による県内中小企業のDX化総合支援を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・DX人材育成・技術開発支援事業 78,399千円 工業技術センターや飯塚研究開発機構を通じた、専門人材の育成および技術開発支援。 ・中小企業DX伴走型総合支援 114,553千円 中小企業DX推進センターによる、企業のカイゼンやDX化に向けた総合的な伴走支援。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①年間の従業員1人あたりのコスト削減・商機獲得額（+150千円／人） ②中小企業におけるDXの実践割合（+20.5%） ③カイゼン及びDX化支援企業数（+225社） ④デジタル人材育成セミナー参加者数（+3,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

事業概要：福岡県における中小企業・小規模事業者の販路開拓及び商品開発力向上のためのテストマーケティング促進による地域活性化推進事業

継続

申請者	福岡県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	171,328千円 (40,164千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・県内中小企業・小規模事業者の地域の特性を活かした商品を取り扱うアンテナショップ「DOCORE（どおこれ）」事業をリニューアルし、事業者の商品ブラッシュアップや販売売上の増加につながるデータの詳細なマーケティング分析を強化することにより、収益の向上を図る。 ・稼げる中小企業・小規模事業者を増やし、地域に定着する雇用の創出に繋げる。						
事業概要・主な経費	【事業概要】 DOCOREショップの取組をより効果的にするため、行政、商工団体、大学、マスコミ、銀行など地域の多様な意見を反映しながら、中小企業・小規模事業者が、販路拡大と商品開発をより積極的かつ効果的に行うための詳細なデータ分析に取り組むことで、地域全体で中小企業・小規模事業者の稼ぐ力を向上させ、地域経済の活性化を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・多様な主体が参画するDOCOREショップ店舗運営会議による販路拡大に係る事業 ・店舗運営会議に係る費用（補助金）1,500千円 ・DOCOREショップに関する事業 ・DOCOREショップの運営、データ分析に係る費用（補助金）34,164千円 ・展示会等への出展に要する費用（補助金）4,500千円						
主なKPI	①本事業に参加した事業者の事業所内の最低賃金の上昇（+153円） ②本事業に参加した事業者の内、収益が向上した事業者の割合の向上（+50%） ③本事業に参加した事業者の内、販路が拡大した事業者の割合の向上（+50%） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

申請者	福岡県ほか 2 自治体※					初回採択回	令和 7 年度第 2 回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	1,358,111千円 （364,056千円）
事業類型	ソフト 事業	✓	拠点整備 事業	✓	インフラ 整備事業		
目的・効果	本県が誇る「食」「温泉」「伝統工芸」「世界遺産」を活かした高付加価値な観光コンテンツ造成に加え、県内の「サイクリングルート」を地域の新たな観光コンテンツとして整備を進め、それらを融合させた魅力を国内外の幅広い層に積極的に情報発信することで、県内各地への誘客・周遊を促し、旅行消費の拡大、ひいては地域経済の活性化につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 食や伝統工芸、世界遺産等のテーマ別プロモーションや高付加価値な体験コンテンツ造成、多言語発信を強化する。併せて、サイクルルートや休憩拠点、移動手段等の受入インフラ整備を推進する。これらの取組により国内外からの誘客と広域周遊を促進し、滞在時間の延長と観光消費額の増大を通じた地域経済の活性化を実現する。					 ◀ 原鶴温泉	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・戦略的プロモーション（委託料等） 108,559千円 「食の王国福岡」の魅力発信、温泉地への誘客・旅行商品造成、インバウンド市場開拓。 ・観光資源の魅力向上（委託料等） 23,506千円 複数自治体連携による体験プログラム開発や、伝統工芸品産地のオープンファクトリー化を支援。 ・休憩施設整備（工事請負費） 37,000千円 広域サイクリングルート周辺におけるトイレやサイクリスト用休憩設備の整備。 ・自転車走行環境整備（工事請負費） 127,000千円 広域サイクリングルートにおける案内看板、路面標示等の改良。					路面標示（インフラ整備）▶   ◀ 伝統工芸品産地オープンファクトリー	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における旅行消費単価（外国人、日本人）（+8,442円、+2,658円） ②延べ宿泊者数（外国人、日本人）（+63万人泊、+169万人泊） ③福岡の認知度（欧米豪）（+5%） ④リピーター率（+5.4%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

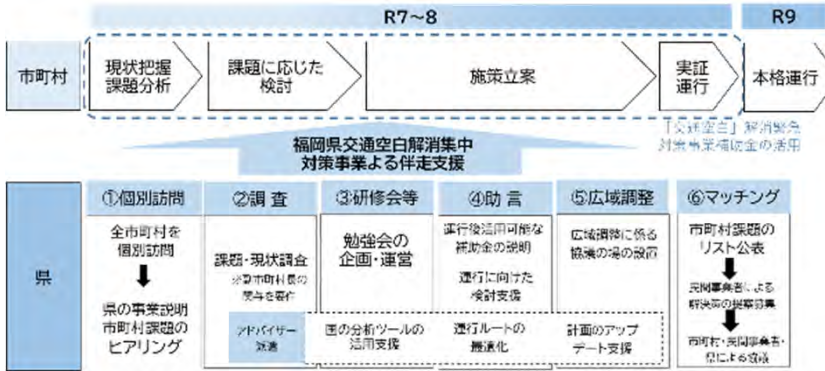
※福岡県、宗像市、福津市の広域連携事業

申請者	福岡県					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	318,570千円 (116,736千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・付加価値の高い商品改良や販路拡大に取り組む中小企業等を支援し、業績向上を図る。 ・成長著しい宇宙ビジネスへの県内中小企業等の参入を支援し、新たな産業の創出と雇用の拡大を図る。 ・M & Aによる事業承継を促進し、後継者不足を理由とした廃業を食い止め、企業に蓄積された技術やノウハウを守る。 ・商店街に対し、地域特性に応じた活性化策を支援することで、地域商業の振興と地域コミュニティの醸成を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 中小企業等の商品改良や販路拡大、宇宙ビジネスへの参入、M&Aによる事業承継促進、商店街振興等に対する総合的な支援策を講じることで、地域経済の活性化と持続的な発展を目指す。					未来にはばたく 中小企業応援 宇宙ビジネス振興 地方経済の原動力 「中小企業」 成長支援事業 中小企業の M&Aによる 事業承継支援 がんばる 商店街応援	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・未来にはばたく中小企業応援事業 64,757千円 新商品開発や販路拡大を目指す重点支援企業への支援および専門家による伴走支援 ・宇宙ビジネス振興事業 24,838千円 プロモーターによる伴走支援や交流イベント開催を通じた、中小企業の参入促進 ・中小企業のM&Aによる事業承継支援事業 20,035千円 M&Aの売手、買手双方への支援 ・がんばる商店街応援事業 7,106千円 商店街の後継者不足対策、集客力向上等の取組支援						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①県の重点支援企業のうち売上または経常利益が向上した企業数（+900社） ②県内の新たな事業や販路拡大に取り組む中小企業数（+180社） ③宇宙ビジネス新規参入社数（+36社） ④事業承継・引継ぎ支援センターにおけるM & A成約件数（+20件） ⑤商店街等の課題解決に向けた数値目標達成件数（+18件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

事業概要：花による美しいまちづくり推進事業

継続

申請者	福岡県					初回採択回	令和7年度第2回募集	
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	211,227千円 (75,638千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	・「花による美しいまちづくり」は、行政だけでなく地域が一体となり、まちの身近な生活空間を花や草木により彩ることで、誰もが住みたいと思うまちづくりを行う取組である。 ・この取組を推進し、地域の景観向上、地域コミュニティの活性化及び県産花きの消費拡大を目指す。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 庭園デザイナーによる啓発やボランティア支援、公共空間での花壇整備を推進し、多様な主体が連携する「花による美しいまちづくり」を展開する。モデル地域での観光振興や被災地の復興支援等を通じて景観向上と来訪者増加を図り、地域のつながりを強化する。これらの取組により県産花きの消費拡大と地域経済の好循環を創出し、持続可能な地方創生を加速する。					 		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 ・コーディネーターによるまちづくり事業 ・年1回の講演会の開催（委託料） 2,270千円 ・年4箇所のセミナーの開催（委託料） 4,873千円 ・コーディネーターと連携したモデル地域の整備事業 ・モデル地域の創設と広報（委託料等） 28,220千円 ・コーディネーター活動費（報償費等） 1,002千円 ・公共空間における花による美しいまちづくりの推進 ・啓発イベント等開催、フラワーボックス新設（委託料） 38,073千円 ・担い手拡大のための支援 ・ボランティア団体に対する支援（補助） 1,200千円					 		
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①花き関連産業に関する年間支出増（+14,450千円） ②「花による美しいまちづくり」参加人口（+240人） ③新たに整備する花壇等の面積（+3,150㎡） ④モデル地区の年間入込客数（+10,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		令和8年9月公表予定

申請者	福岡県					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	125,124千円 (61,503千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	県内交通空白の解消を図るため、市町村間の広域調整や伴走支援により、国の令和6年度補正予算「交通空白」解消緊急対策事業を活用した市町村の交通空白解消の取り組みを促す。 交通空白が解消されることで、地域公共交通の利便性が向上し、進学や就職に伴う人口流出の防止ができるとともに、利用者が増加し、地域内外の交流促進が図られることにより、地域経済が活性化し地方創生に繋がる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 交通空白解消に向け、市町村間の広域運行に向けた支援・調整と市町村の取組の段階に応じた伴走支援を、2年間で集中的に実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○交通空白解消に向けた市町村への支援事業 ・広域調整のための検討会開催（報償費）462千円 ・公共ライドシェア等の検討（委託料）1,243千円 ・アドバイザー派遣（委託料）10,164千円 ・課題解決に寄与する民間事業者とのマッチング支援（委託料）5,591千円 ・データ利活用による地域交通網最適化の支援（委託料）15,587千円 ・専門プロジェクトチームの設置による専門的・全県横断的課題への対応検討（委員謝金等）6,695千円 ・広域モビリティハブ機能の構築支援（補助金）10,000千円 ・オープンデータの整備（委託料、補助金）11,761千円						
主なKPI	①公共交通カバー率（+2.2%） ②県内の地域公共交通機関の利用者数（+8万人） ③「交通空白」解消のためにコミュニティバスや公共ライドシェア等を導入した地区数（+108地区） ④本事業を実施した市町村が運行する地域公共交通機関の利用増加率（+10%） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

事業概要：食料安全保障の確保を踏まえた福岡県農林水産業の発展

継続

申請者	福岡県					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,129,242千円 (349,770千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	以下の取組により本県農林水産業を活性化し、食料安全保障の確保の観点を踏まえた地方創生を推進する 新たな技術の開発・導入、生産の効率化等による県産農林水産物の生産力強化 国内外のニーズを踏まえた新たな付加価値の創出や認知度向上によるブランド力強化及び輸出促進 持続的な農業生産を担う企業型経営体の育成、環境や食の安全性に配慮した農業生産の推進						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「あまおう」や八女茶、博多和牛等のブランド強化に向けた生産・輸送技術向上、海外販路拡大、知的財産保護を推進する。併せて、農地の大区画化やスマート農業導入、企業型経営体育成による生産効率化とGAP認証取得を支援。これらの取組により、県産農林水産物の競争力強化と輸出拡大、収益向上を図り、本県農業の持続的な発展を実現する。					   	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・「あまおう」の生産規模拡大とブランド価値の向上 （委託料、需用費）40,722千円 ・国内外における八女茶の認知度向上 （委託料、需用費）119,283千円 ・本県農業を持続的に支える企業型経営体を育成 （補助金、委託料）155,977千円 ・「博多和牛」の認知度向上 （委託料、補助金）13,344千円 ・県産酒をはじめとする県産ブランド品目の販売拡大 （負担金）1,000千円						
主なKPI	①県農業産出額（+0.9 億円） ②農業法人数（+150 法人） ③八女抹茶の栽培面積（+72 ha）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

事業概要：若者と女性が輝く地域づくりプロジェクト費

継続

申請者	福岡県					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	224,676千円 (101,915千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	地域におけるジェンダーギャップの解消、企業等における女性活躍、女性が働きやすい環境整備を進め、「女性が活躍できる福岡県」「女性に選ばれる福岡県」を目指し、女性の転出超過及び人口減少の抑制を図る。 将来の福岡県を担うこどもたちが、予測困難な時代を生き抜いて未来を切り拓く人材となるよう、自らの可能性に気づき、失敗を恐れず夢に向かってチャレンジすることを応援し、「全てのこどもが 夢や希望を持ち たくさんの笑顔で暮らせる 福岡県」の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 自治会長や社内取締役への女性登用、県民運動を通じた意識改革を推進する。また、健康課題解決に向けた職場環境整備や地域での体験活動充実、キャリア形成支援を実施。これらの多角的な取組により、誰もが個性と能力を発揮し健康に働き続けられる環境を整備し、女性の県内定着と活躍を促進することで、選ばれる地域づくりを加速する。					【フォトメッセージの一例】  タイトル：女だけじゃない タイトル：なんでも母さんばかり？ 【女性の企業経営層参画フォーラム「福岡BOARD倶楽部」】  発足式の様子（令和7年11月4日）	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・女性活躍・意識啓発事業 24,191千円 女性の企業経営層参画フォーラムの開設、動画募集による啓発、女性特有の健康課題とキャリアの情報発信・企業の取組推進。 ・学生・女性就業支援事業 66,953千円 学生の就職意識調査の実施・県内企業見本市の開催、自己分析セミナーや企業交流会を通じた働く女性のキャリア実現支援。 ・実態調査・効果検証 10,771千円 自治会長への女性登用障壁アンケートおよび、参加者の行動変容に関するモニター調査。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①20代女性の東京圏への転出超過数（▲700人） ②女性自治会長5%以下の市町村数（▲32自治体） ③企業から推薦を受けた女性役員候補者の参加者数（+60人） ④福岡県女性の活躍推進ポータルサイト内特集ページの年間閲覧数（+15,000回） ⑤未来こどもチャレンジ応援事業者による体験活動を実施した圏域の数（+7圏域）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

事業概要：文化芸術・スポーツの振興事業費

継続

申請者	福岡県					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	183,316千円 (63,910千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	住民同士のつながりを回復させ地域の活性化を図るため、多くの人々に地域の魅力を発信し、文化芸術・スポーツの多様な分野において関係人口を創出・拡大していく。 住民が繋がりやすい環境を創出し、年齢、性別、人種、障がいの有無等の壁を越えた交流により地域コミュニティを強化することで、地域が活性化し地方創生に繋がる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 eスポーツや各種スポーツ国際大会、一流の舞台芸術、文化芸術ワークショップ等の多様な体験・交流機会を創出する。 産学官連携によるイベントやトップアスリートとの交流を通じ、地域の魅力を国内外へ効果的に発信する。 これらの取組により、関係人口の拡大と地域活性化を図り、本県への愛着醸成と移住・定住の促進を実現する。					  Photo: Koujiro Yoshikawa	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○「JAPAN BASE」を活用したラグビー交流推進事業：8,282千円 ○バレーボール国際強化拠点事業：4,356千円 ○国際大会の開催を契機とした地域スポーツ活性化事業：13,833千円 ○福岡×オセアニア グローバルアスリート育成プロジェクト：11,351千円 ○アーバンスポーツ普及推進事業：3,341千円 ○こども食堂における文化芸術ワークショップ開催推進事業：3,535千円 ○舞台芸術鑑賞・体験機会充実事業：19,212千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①福岡県の人口増加数（社会増減数）（+63,000人） ②eスポーツ事業を実施する市町村数（+56市町村） ③eスポーツイベントにおける集客数（+15,000人） ④運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは、「大切」と思う小学生男子の割合（+4.1%） ⑤運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは、「大切」と思う小学生女子の割合（+4.1%） ⑥文化芸術を直接鑑賞・体験した県民の割合（+6.7%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

事業概要：国内外のスタートアップ・ベンチャーが集う
イノベーション・エコシステム拠点の形成事業

継続

申請者	福岡県、久留米市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,215,791千円 (335,875千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・グローバルな投資家との接点を創出し、海外からの投資を呼び込む ・アジアとボストンを対象地域とし、海外企業誘致を加速化する ・国内外の企業が集う場づくりや分野横断的なイベントを開催し、グローバルなオープンイノベーションを促進 ・スタートアップや中小企業のアトツギなどの若手起業家の育成を強化し、イノベーションの多様な担い手を創出						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 CICFukuoka内に設置したグローバルコネク特福岡を核として、様々な分野の多様なスタートアップ・ベンチャーが集い、イノベーションを創出するアジアの一大拠点となることで、「世界から選ばれる福岡県」を実現し、その成果を県内各地へ波及させ、地域経済の更なる発展を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・ユニコーン創出プロジェクト 176,632千円 育成プログラムの実施や、CIC等国内外の機関と連携したピッチイベント・交流会の開催。 ・海外スタートアップ・VC誘致 21,692千円 海外支援機関等と連携したピッチイベントや商談会の開催による誘致活動の強化。 ・アトツギ・サッシンベンチャー伴走支援 102,038千円 後継者等の新規事業展開を支援する、専門家による伴走支援プログラムの実施。 ・世界を目指す起業家の育成 35,513千円 グローバルな活躍を目指す起業家の発掘、および育成プログラムの提供。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本県のベンチャー企業への投資額（+1,000億円） ②1億円以上の投資を受けた企業数（+91社） ③福岡拠点開設を決めた海外企業数（+57件） ④米国ボストンに有望人材を派遣する件数（+40件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

事業概要：広域バイオエコシステム「Fukuoka Bio Open Gateway」構築事業

新規

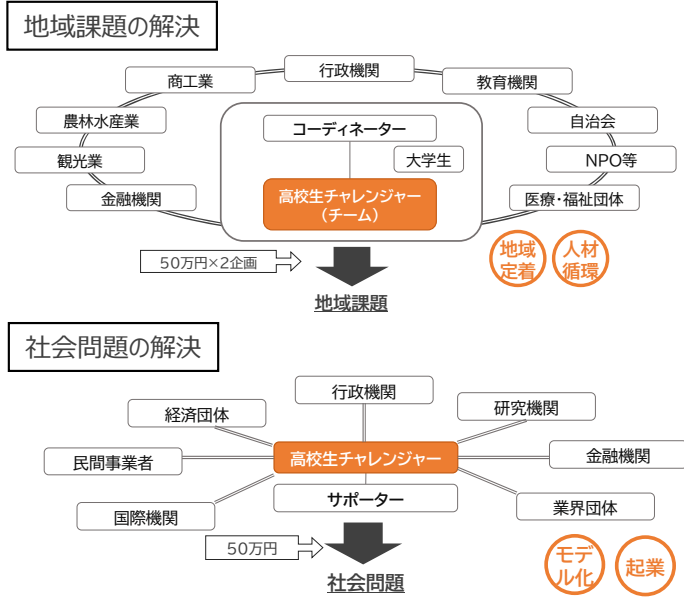
申請者	福岡県、久留米市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,240,668千円 (434,982千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・AI・デジタル技術の活用、優位性のある地域産業の強化等により、県内のバイオ関連中小企業やスタートアップの付加価値を向上し、国際市場で勝ち抜く力を強化する。 ・海外とのネットワークを持つ機関の活用、産学官金の有機的連携の促進等により、国内外からヒト・モノ・カネが集まる環境を整備する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○AI・デジタル技術とバイオ産業の新結合による地域企業等の成長加速 ○大学との連携による特色ある地域産業の強化 ○地域的優位性を活かした関係機関との連携による体制の構築						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・AI技術活用による医薬品等開発支援(委託料) 96,500千円 ・大学と連携したAIによる機能性表示食品開発など新事業の促進(委託料) 55,312千円 ・AI人材の育成(報償費、使用料等) 2,133千円 ・米国やアジア圏などへの海外展開支援(委託料、補助金等) 50,026千円 ・睡眠産業のプラットフォーム構築(委託料) 11,300千円 ・久留米市を中心とした福岡県への国内外企業のさらなる集積(委託料、補助金) 111,332千円 ・海外ネットワーク機関との関係構築(委託料) 39,357千円 ・海外での資金調達等に向けた伴走支援(委託料)29,022千円						
主なKPI	①企業が支援を受け製品化した製品販売額(+139億円) ②支援した企業による国内外からの資金調達額(+109.5億円) ③県内企業の機能性表示食品届出数(+548件) ④支援した企業の睡眠関連商品化件数(+4件) ⑤支援により新たに海外へ事業展開した企業数(+13社)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

申請者	福岡県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	242,734千円 (93,494千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・福岡県が有する、洋上風力発電と次世代型太陽電池における全国有数の高い導入ポテンシャルを最大限に活用し、産官学金言などの多様な主体と連携しながら、次世代技術によるエネルギーの地産地消の高度化を推進する。これにより、関連産業の更なる集積と、高度な技術者育成・地域雇用創出を強力に実現し、本県の持続的な発展に貢献する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・洋上風力発電産業の更なる集積を図るため、「響灘沖一般海域」の「促進区域」への早期指定に向け、船舶通航の詳細調査と風車が設置された場合の船舶交通への影響解析及び安全性確保・影響最小化策の検討を行う。 ・洋上風力発電の市場拡大に伴う運転・維持管理分野での人材不足を解消し、地元企業の参入を促進するため、同分野における人材育成・雇用創出を重点的に行う。 ・次世代型太陽電池のR11年度の社会実装を目指し、民間企業が積極的に導入を進める強固な環境を整備するため、県有施設への率先導入に向けた導入可能性調査と民間企業による実証支援を強力に推進する。					響灘沖一般海域は、 令和7年9月に有望区域へ格上げ ＜基本情報＞ 面積:51km² 最大想定出力:51万kW (1.5万kW×34基) 区分:着床式 ＜福岡県風力発電産業振興会議＞ 設立:令和3年 加盟数:243企業・団体 (令和8年1月現在) 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・「響灘沖一般海域」の促進区域への指定に向けた船舶実態調査 (委託料) 35,046千円 ・洋上風力発電産業における運転・維持管理分野の地元参入の促進 (委託料) 7,500千円 ・次世代型太陽電池の導入可能性調査 (委託料) 30,948千円 ・民間事業者による次世代型太陽電池の実証事業支援 (補助金) 20,000千円						
主なKPI	①県内総生産 (+774億円) ②県の建設業、製造業、電気・ガス・熱供給・水道業における新規雇用者数 (+12,390人) ③再生可能エネルギー発電設備導入容量 (+522,000kW) ④洋上風力技術者(運転・維持管理)の人材育成数 (+150人) ⑤次世代型太陽電池の県内導入箇所数 (+9箇所) ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

申請者	福岡県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,162,564千円 (406,708千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	①構造転換、②環境負荷の低減、③新技術開発・生産性向上、④中山間地域の活性化、⑤販売・消費拡大を5つの柱として重点的に取り組むことにより、本県の基幹産業である農林水産業を、将来にわたり地域を支える強靱で持続可能な産業として確立する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 下記をはじめとする取組により、持続可能な本県農林水産業を確立する。 ①構造転換：将来的な農地利用の検討や企業参入を含めた担い手の確保、本県農業をけん引する経営者の育成 ②環境負荷の低減：漁場環境の保全と生産性の確保に資する、水質の分析や環境基準の検討 ③新技術開発・生産性の向上：気候変動の影響に適応した品種育成、効率的な林業に資する新たな手法開発 ④中山間地域の活性化：地域資源の活用による新たな収入源確保 ⑤販売・消費拡大：県産農林水産物のPRによるブランド化や輸出促進に向けた販路開拓					 福岡有明のり Fukuoka Ariake Nori ▲「福岡有明のり」ロゴマーク	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・農業、漁業における人材確保・育成（委託料、補助金）23,092千円 ・きれいで豊かな海づくりのための調査、分析（需用費、委託料）23,759千円 ・気候変動に対応した生産技術の確立（需用費、補助金）26,970千円 ・既存資源の新用途開拓などの多角的利用や、廃棄されている資源の利用に向けた生産者の取り組みの支援（補助金）10,630千円 ・県産食材の国内外におけるP R（委託料、補助金）112,611千円					 ▲農業経営者育成のセミナー	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農産物出荷額（+1.2億円） ②担い手への農地集積率（+6%） ③県産食材を用いた「福岡フェア」を開催する事業者数（+60社）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

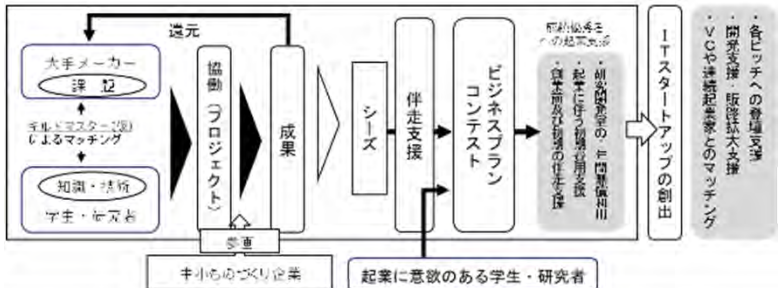
申請者	福岡県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	119,521千円 (39,235千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・社会変化の中で新しい地方を創るには、柔軟な発想で課題に向き合える青少年の育成が重要であり、高校生が地域課題や社会課題の解決に主体的に取り組むことで、地域の未来を担う人材へ成長し定着する好循環を目指す。 ・自らの可能性に気づき、自らの内にある無限の力を信じて、失敗を恐れず夢に向かってチャレンジする青少年が県内各地で育ち、また、県内外の若者に選ばれる地域となることで、「誰もが安心してたくさん笑顔で暮らせる」福岡県の実現を目指す。 ・また、高校生による地域資源の活用や地域課題の解決に向けた取組を支援し、多様な人材との交流や連携を促進することで、地場産業の付加価値向上や販路開拓等につなげ、地域経済の維持及び拡大を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 高校生を対象に、地域課題や社会課題の解決に向けた挑戦の機会を提供し、失敗を恐れない活動を支援することで、若者の成長と活躍を促すとともに、若者に選ばれる地域を創る。また、地域内外の人材交流の活性化を通じ、若者の視野を広げるとともに、都市・地方間の人材循環を育む基盤を構築する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・高校生がチームを組み地域の関係者と連携しながら地域固有の課題・ニーズに応じた持続性の高い実践活動を、コーディネーターの配置、活動拠点の提供、資金援助によって支援（21,508千円） ・社会性、事業性、革新性が高く社会問題の解決に資するソーシャルビジネスの起業に向けた高校生の実践活動を、専門家の助言や資金援助によって支援（8,743千円） ・事業参加高校生に加え、他の高校生、大学生、社会人も加わるコミュニティを形成し、交流を促進。このコミュニティを通じて、高校生が多様なロールモデルや価値観に触れる機会を提供し、キャリアデザインを後押し。（8,984千円）						
主なKPI	①若者（15～29歳）の東京圏への転出超過数（▲6,000人） ②事業参加者の所在市町村数（+60市町村） ③事業参加者数（+344人） ④事業化数（+18件）					URL	令和8年9月公表予定

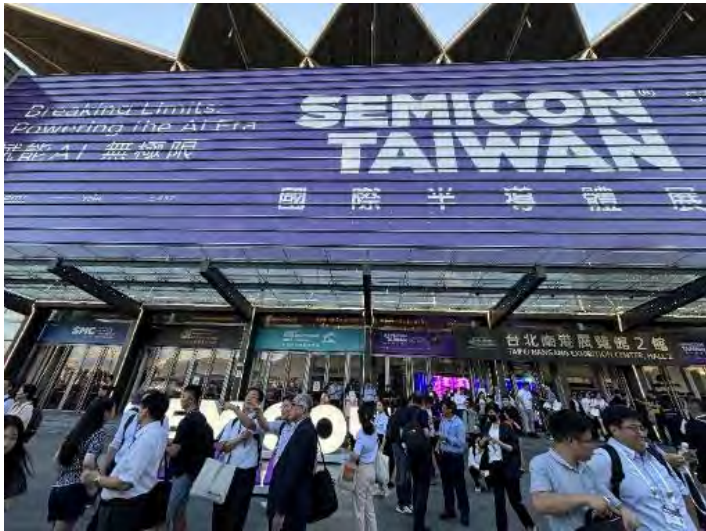
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：産学官共創による地方スタートアップ拠点の創出事業

新規

申請者	福岡県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	80,132千円 (21,864千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地方の人口減少や消費縮小が進む中、「強い経済」を実現するためには、地域資源の活用により、各地域において高付加価値型産業を創出する。 ・生産年齢人口が減少する中で、AI等の先端技術のスキルを持つ学生が地域内の企業のこうした課題に接する機会を提供することを通じ、域内企業の人材確保・育成やDXの導入による生産性の向上を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 企業や学生・研究者が集い、革新的な技術・製品が生み出される拠点を創出し、大手メーカーが抱える課題と学生・研究者の知識・研究成果をマッチングし、協働で課題解決に取り組むプロジェクトを推進することにより、学生等の課題解決の実践的なスキルを磨く。学生・研究者の優れたシーズや成長が期待されるビジネスモデルに対し、起業支援を行うことで、ITスタートアップの創出を促進する。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・「e-ZUKA TECH GUILD（仮称）」を飯塚研究開発センターに設置・運営 ・企業が課題を学生・研究者に向けて提示するピッチや企業視察を開催 ・課題と学生・研究者間のマッチング、協働プロジェクトの進捗管理からアドバイスの提供まで一貫してサポートする「ギルドマスター（仮）」を配置 ・プロジェクトの成果発表会およびビジネスプランコンテストを開催し、成績優秀者に起業支援を行う ギルドマスター謝金・旅費2,633千円 ビジネスプランコンテスト審査員謝金・旅費1,050千円 会場使用料259千円 委託費 17,922千円						
主なKPI	①支援を受けて企業が開発した製品・サービスの販売額（+6,510万円） ②成長産業分野（IT関連）への新規参画企業数（+9団体） ③「e-ZUKA TECH GUILD（仮称）」に参加する学生・研究者の数（+90人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

申請者	福岡県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	135,810千円 (45,270千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・福岡県の半導体・デジタル産業の国際競争力を強化し、海外市場でのプレゼンスを高める。 ・台湾の半導体・デジタル産業界との連携を強化し、県内企業のサプライチェーンにおける新たなビジネス機会を創出する。 ・県内中高生がテクノロジー分野に興味・関心を持つ機会を創出し、将来の技術系人材の育成を支援する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 世界最大級の半導体展示会への出展、台湾企業との商談会開催を通じて、福岡県企業の国際競争力強化とサプライチェーンの安定化を図る。また、福岡県内中高生向けテクノロジー人材育成プログラムを実施し、将来の技術系人材を育成することで、半導体・デジタル産業の持続的な成長と地方創生に貢献する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・海外大型展示会への出展 14,786千円 ・海外企業との商談会の開催 3,471千円 ・将来の技術系企業を担うテクノロジー人材の育成 27,013千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①付加価値額（+427,044千円） ②半導体・デジタル分野への新規参画企業数（+84社） ③テクノロジー人材育成教育プログラム参加者数（+1,440人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

事業概要：ワンヘルスの森四王寺ビジターセンター（仮称）等整備事業

新規

申請者	福岡県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,316,010千円 (212,908千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・県内外の若者やインバウンド客の積極的な周遊と、福岡県が推進するワンヘルスの理解促進を図るため、「ワンヘルスの森四王寺」の魅力を向上する。 ・若者やインバウンド客の周遊と滞在時間の延長により、地域全体の観光振興と経済活性化に貢献する。 ・ワンヘルスについて学習できる施設を整備することにより、ワンヘルスの理解促進を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・老朽化した事務研修棟を解体し、ワンヘルスや四王寺山の歴史を学べる展示学習室、バーチャル森林浴体験ルーム、研修室等を備えた「ワンヘルスの森四王寺ビジターセンター（仮称）」を新築する。 ・展望デッキや愛玩動物とのふれあいスペース、木製遊具、森林浴体験ルート等を整備するとともに、森林浴ガイドナビゲーションシステムなどのデジタルコンテンツを導入し、高付加価値な森林浴体験を提供する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ビジターセンターの整備 71,872 千円 事務研修棟の解体 41,660 千円 愛玩動物とのふれあいスペースの設置 54,887 千円 森林浴体験ルートの整備 12,697 千円 森林浴のエビデンス取得 11,733 千円 森林浴へのデジタルコンテンツの導入 17,344 千円 森林浴プログラムの充実 2,715 千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①福岡県福岡地域の宿泊者の娯楽等サービス消費額（+185.5億円） ②「ワンヘルスの森四王寺」の来訪者数（+42,000人） ③「ワンヘルスの森四王寺」ビジターセンターの利用者数（+10,200人） ④森林浴ガイドナビゲーションシステムの利用者数(+2,630人） ⑤来園する教育関係団体数（+25団体） ⑥愛玩動物とのふれあいスペースの利用頭数（+3,780頭）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

事業概要：「はかた地どり」の改良加速化と増産を可能とする研究拠点施設整備事業

新規

申請者	福岡県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	234,923千円 (234,923千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	福岡県のブランド農産物である「はかた地どり」をより美味しく、生産しやすくする改良を加速化するとともに、改良した「はかた地どり」を増産することで、生産者のみならず流通、加工、食品製造、外食産業など地場の周辺産業の付加価値向上や販路開拓につなげ、地域活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 福岡県農林業総合試験場内に、始原生殖細胞を活用した遺伝資源の保存・復元を行う実験棟、肉質分析研究棟、AI解析室を備えた作業拠点施設、暑熱対策機能を有する成鶏舎・育すう舎及び消毒施設を新設するとともに、研究・衛生管理に必要な機器を導入する。これにより、はかた地どりの改良期間の短縮、防疫体制の強化及び種鶏供給体制の拡充を図り、出荷85万羽体制を構築する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・遺伝資源管理・孵卵施設整備 32,286千円 ・解体・肉質分析施設整備 18,689千円 ・高機能成鶏舎整備（2棟） 50,953千円 ・高機能育すう舎整備 14,077千円 ・作業拠点・画像解析施設整備 76,954千円 ・消毒施設整備 3,269千円 ・用地造成・設備整備 38,695千円						
主なKPI	①はかた地どり販売金額（+4.76億円） ②はかた地どり出荷羽数（+24万羽） ③はかた地どり始原生殖細胞保存数（+5万個）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

事業概要：持続可能な商店街活性化事業

継続

申請者	福岡県北九州市					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	187,800千円 (59,500千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本市における人口減少及び少子高齢化や、商店街における消費や賑わいが落ち込む中、商店街や民間事業者等は、費用面やノウハウ・ネットワークの不足がネックとなり、イベント開催等の商店街活性化対策に踏み込めない状況である。そこで、行政の後押しにより、商店街活性化のための担い手育成、空き店舗対策、スタートアップ支援等を行うことにより、将来的に行政の支援がなくても自立・自走できる仕組みを作ることができれば、持続可能な商店街づくりにつなげることができる。また、地域や商店街主体の活性化策というロールモデルが普及することにより、他地域にも同様の動きが広がり、市内全域への波及効果が期待できる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 商店街への出店、イベント開催、ネット検索性向上、インバウンド対応、コミュニティ拠点づくり等への支援や、情報発信事業、繁華街等街なかの魅力向上イベント等への支援を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 ・魅力ある商店街づくり支援事業 ・商店街活性化支援事業等 20,500千円 ・空き店舗マッチング 500千円 ・商店街テナントリーシング支援事業 4,000千円 ・商店街あつまる・つながる拠点づくり支援事業 5,000千円 ・新たな来北者をターゲットとした情報発信事業 ・広報物等作成・掲載委託費 1,000千円 ・官民連携による街なか魅力向上事業 ・中心市街地（小倉・黒崎）イベント補助金 21,000千円 ・ナイトタイムエコノミー推進プロジェクト 7,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①主要商店街における新規出店件数（+32件） ②地元農林水産業者と商店街とのマッチング件数（+25件） ③開催支援したイベントでの事業費収入（+13,100千円） ④商店街周辺における歩行者通行量（黒崎地区）（+6,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/285_00036.html

事業概要：地方創生SDGs達成に向けた企業へのSDGs実践推進事業

旧制度（推進）

申請者	福岡県北九州市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	292,499千円 (59,110千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・市内企業のSDGsの取組を誘発・加速する支援により、SDGsを意識、実践する企業の増加を図り、SDGsを原動力とした地域経済の成長を目指す ・市内企業のダイバーシティ経営の実装、地域貢献等を支援することで企業価値の向上を図る		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市内企業のSDGsの取組を誘発・加速する支援により、SDGsを意識、実践する企業の増加を図り、SDGsを原動力とした地域経済の成長を目指す事業		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○企業のSDGsの取組の誘発・加速支援 ・認証制度の運営（委託費）21,932千円 ・登録制度の運営（役務費）2,816千円 ・民間主導によるSDGs支援体制構築・運営・情報発信等（委託費）10,000千円 ・ワークライフバランス先進都市推進事業（委託料）1,300千円 ○地域貢献による企業価値向上支援 ・企業による防災人材育成事業（委託費等）1,188千円 ・企業と地域団体の活動支援事業（補助金）1,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①労働者の賃金上昇額（SDGsの実践等による企業価値向上）（+700円） ②「北九州SDGs登録制度」登録事業者数（+1,000事業者） ③SDGs経営サポートの活用件数（+125件） ④女性のキャリアアップ支援セミナーでのアンケート調査での満足度（「良い」、「大変良い」と答えた割合）（+90%）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/285_00036.html

民間主導（作成・運営）で
メタース空間を活用した交流会を実施

事業概要：多様な人材の活躍による持続可能な社会構築推進事業

継続

申請者	福岡県北九州市					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	393,599千円 (84,781千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・大都市における高齢化の課題先進都市である本市において、孤独・孤立対策の先進的な取組を実施することで、持続可能で安心して住み続けられる地域社会のモデルを構築する ・本市で活動する多様な主体と行政、地域が連携、協働する包括的な支援体制を構築し、「地域共生社会」の実現を図る						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・NPO・行政等が連携し、孤独・孤立を防ぐプラットフォームや多様な居場所を創出する ・孤独対策、外国人材受入れ、障害者自立を図る「ソーシャルファーム」等の展開 ・人材育成、関係人口拡大、企業誘致の促進による地方創生の加速 多角的な支援体制により、誰もが役割を持ち孤立しない地域社会の実現を図る						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・会議運営及び活動経費（報償費・会場使用料・需用費・委託費）1,545千円 ・マッチング就労支援費（委託料・需用費・役務費・使用料）48,160千円 ・留学生支援（委託料）500千円 ・多言語情報の提供及び通訳支援（委託料）3,280千円 ・セミナー、講座、プログラム開催経費（報償費、会場借上料、会場使用費、需用費、委託料、使用料、旅費）5,418千円 ・地域資料集作成経費（委託料）4,911千円						
主なKPI	①地域の多様な社会資源を活用した支援件数（+50件） ②孤独・孤立対策プラットフォームへの参加団体（+30団体） ③就労継続支援事業所の平均収入の増加割合（+20%） ④就労定着支援事業所の就労定着率80%以上の事業所割合（+12.36%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/285_00036.html
	※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						

事業概要：ロボット・DX推進センターを拠点とした、企業変革促進伴走支援事業

継続

申請者	福岡県北九州市					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	558,360千円 (89,937千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	ロボット・DX推進センターを核として、DX・グリーン成長に向けた企業変革を支援することで、脱炭素に資する新たなサービスの創出や新たな市場に参入する企業を増やし、市内企業の競争力を向上させる。 また、雇用創出、生産性向上・競争力強化による地域経済活性化に取り組み、地方創生の「成功モデル都市」を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「顧客課題に対し、自社の強みを活かしてデジタル技術を活用した新たな付加価値を提供するDX」、そして、「自社内及びサプライチェーン上のカーボンニュートラルに加え、脱炭素に資する新サービスの創出や新市場への参入を目指すグリーン成長」への取組みを支援することで、企業の競争力向上を図る。そのために、相談対応から人材育成、実践支援まで、切れ目のない伴走支援を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・ロボット・DX推進センターによる企業変革支援（委託費）52,400千円 ・北九州GX推進コンソーシアムを中核とした企業変革支援（補助金、委託料）37,537千円					 	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①DX・グリーン成長に向けた計画実践企業数（+380社） ②DX・グリーン成長を目指す企業を伴走支援した企業数（+770社） ③ロボット・DX推進センターの取組みを紹介した企業数（+500社）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/285_00036.html

事業概要：「人への投資」をはじめとした企業の投資加速化支援事業

継続

申請者	福岡県北九州市					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	424,350千円 (93,333千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・市内大学の知を活用したリスキングスクールを開設し、企業変革に向けて経営者のマインドセットを行う ・現場リーダー等社内人材を対象としたスクールにより中小製造業の労働生産性の向上を図る ・市内人材および外国人材のインターンシップを実施して市内企業を知ってもらうことで、地域企業への定着を図る ・ロボット導入やD Xの推進により中小製造業の労働生産性の向上を図る						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「人への投資」をはじめ、DX関連の設備投資等、市内中小企業の投資加速化を支援するため、社内人材育成のためのスクール、大学生等外部人材の知見を活用するインターンシップ事業、投資促進支援事業等を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・北九州DX推進スクール（補助金）20,000千円 ・市内企業調査（委託料）5,000千円 ・産業人材育成フォーラム（負担金）6,300千円 ・高度外国人材活用支援（委託料）2,533千円 ・九工大の知的資源を活用した地域連携（委託料）7,500千円 ・DX推進補助事業（補助金）30,000千円 ・ロボット導入前検証補助事業（補助金）4,000千円 ・ロボット導入支援補助事業（補助金）18,000千円						
主なKPI	①市内中小製造業の労働生産性（+65千円/人） ②売上高または利益額で2倍増を計画する成長企業数（+6社） ③リスキング教育（生産性向上スクール）受講者数（+800人） ④ロボット・D Xの実践件数（+370件） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/285_00036.html

事業概要：アフターコロナを見据えたクールジャパンによるまちづくり推進事業

継続

申請者	福岡県北九州市					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	728,387千円 (159,700千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	北九州市に集積するクールジャパンコンテンツ関連施設や人材等の資源を活かし、世界的にも若者を中心に人気を持つクールジャパンコンテンツを活用した事業を推進することで、「関係・交流人口」の創出・拡大や関連産業の育成・活性化を図り、北九州市の社会動態をプラスにすべく地域社会の好循環を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・映画・漫画等の資源とデジタル技術を活かし、国際映画祭やアーカイブ化、人材育成を推進 ・関係人口の拡大と産業の活性化を図ることで、地域経済の好循環を創出し、社会動態のプラス化と地方創生を加速する						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 ・北九州国際映画祭の開催 （映画祭での上映、ゲスト招聘イベント、作品の翻訳等の企画・運営等） ・映画祭運営費（負担金）20,000千円 ・映画・ドラマコンテンツを活用したフィルム・コミッション事業 ・撮影誘致に向けたプロモート（委託費）1,500千円 ・松永文庫での企画展・デジタルアーカイブ実施（委託費）9,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①クールジャパン関連企業・教育機関等の集積による市内産業付加価値額の創出（+35,100万円） ②クールジャパン関連事業実施による経済波及効果（+136,873万円） ③クールジャパン関連イベント参加者数（+125,000人） ④クールジャパン関連施設入場者数（+119,017人） ⑤クリエイター人材育成事業参加者数（+2,120人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/285_00036.html

事業概要：北九州市観光産業育成・健全化推進事業

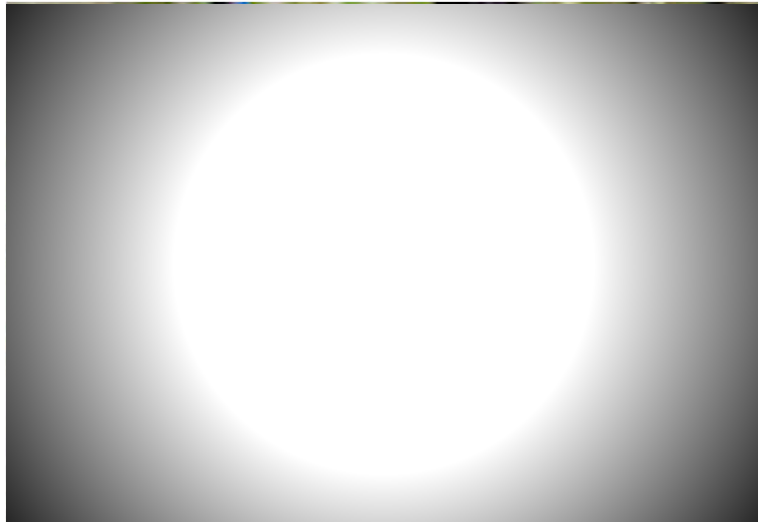
継続

申請者	福岡県北九州市					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	305,894千円 (106,302千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・観光事業者の育成や誘致、生産性向上による収益力アップを通じた観光消費額の増加と人材確保 ・食や祭等の地域資源の活用、ホテル誘致などを通じた高付加価値なサービスの造成による観光消費単価アップ ・公共交通事業者と連携した外国人観光客の北九州空港以外からの誘客、市域回遊・利便性高い仕組構築 ・民間（観光客）による観光情報の発信・拡散を最大限活用する仕組みへの移行						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 デジタル技術を用いたデータ分析、地域DMOや公共交通等との連携により、食や自然、歴史資源を高付加価値な観光サービスに造成・プロモーションし、生産性向上、滞在時間の延長、インバウンド誘客を図る。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・デジタルを活用したマーケティング機能強化（委託料） 10,000千円 ・旅の目的地となるような高付加価値ホテルの誘致（使用料及び賃借料） 392千円 ・若松北海岸の自然を活かした体験型・滞在型観光の促進（委託料） 6,000千円 ・インバウンドへの戦略的対応（委託料等） 56,500千円 ・コンサート誘致活動の支援（負担金） 10,000千円 ・オープントップバスを活用した観光推進（負担金） 13,710千円 ・修学旅行の誘致促進（負担金） 9,700千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（総額） (+61,533百万円) ②宿泊者の観光消費額単価（一人あたり） (+5,613円)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/285_00036.html

事業概要：スタートアップ・グロースサポート事業

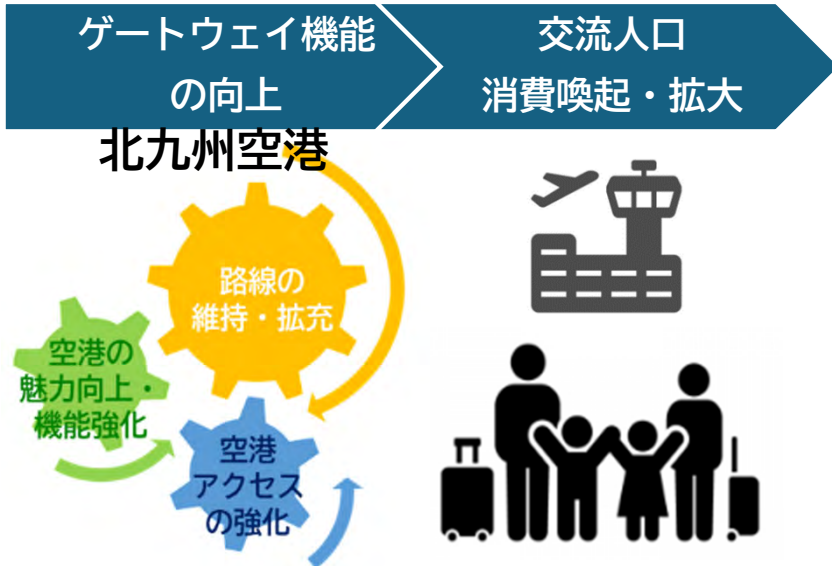
旧制度（推進）

申請者	福岡県北九州市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	221,756千円 (50,084千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・市内スタートアップ(特にディープテック)の成長を加速化させ、世界で活躍し地域経済をけん引する企業を生み出す。 ・スタートアップによる行政の公共調達支援を行うことで、行政DXを加速させ、課題解決及び市民生活の向上を目指す。 ・スタートアップと市内企業(特にものづくり企業)との協業・オープンイノベーションを支援し、生産性向上・高付加価値化を目指す。 ・スタートアップ・市内企業の成長により、雇用創出・賃金底上げ等による「稼げるまち」を実現し、市内総生産・社会動態を改善する。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市内スタートアップの成長加速化を支援するプログラムと、行政課題解決や市内企業との協業につながるスタートアップの取組を支援するプログラムにより、世界に通用するロールモデルを創出することで、「稼げるまち」の実現を目指す。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・市内スタートアップの成長加速化に対する資金支援・伴走支援（委託料）14,998千円 ・スタートアップによる行政課題解決・市内企業との協業に対する資金支援・伴走支援（委託料）17,594千円 ・課題・ニーズとスタートアップをマッチングするプラットフォームの運営（委託料）3,492千円 ・機運醸成イベントの開催（負担金）5,000千円 等		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域におけるスタートアップの新規雇用者数（+105人） ②売上高10億円以上に成長した市内スタートアップ（+5社） ③市内スタートアップのエグジット（IPO又はM&A）（+3社） ④市内外スタートアップによる公共調達・市内企業とのマッチング（+25社）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/285_00036.html

申請者	福岡県北九州市、苅田町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,375,325千円 (569,691千円)
事業類型	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業		
目的・効果	産学連携による研究開発支援や高度人材育成を進めるとともに、産業振興の核となる半導体関連メーカーの誘致、地域の半導体関連企業の成長促進、サプライチェーンの構築などにより、未来を担う重点分野である半導体・次世代自動車・蓄電池、宇宙など関連企業の更なる集積促進、学術研究都市を中心とした未来産業創出を進め、裾野の広い産業集積を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 全国的な半導体産業分野への大規模投資を北九州市の成長の力とするため、学術研究都市の知的資源や人的資源を活用した産学連携による研究開発支援や高度人材育成を進めるとともに、産業振興の核となる半導体関連メーカーの誘致、地域の半導体関連企業の成長促進、サプライチェーンの構築などに取り組む。また、今後成長が見込まれる宇宙産業や蓄電池産業分野などについても、産学官連携による研究開発や地域企業の参入を推進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・半導体メーカーの誘致（委託料等） ・海外誘致プロモーションの実施等 9,180千円 ・航空物流サプライチェーンの構築・活性化・強靱化（補助金等） ・物流ネットワークの確立と戦略的な貨物の集貨等 213,111千円 ・タンク等設備整備 150,000千円 ・半導体・未来産業の推進による稼げる基盤づくり（委託料等） ・オープンイノベーションの推進、人材育成等への支援等 197,400千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①先端企業の集積（+12社） ②北九州空港の国際貿易額（+990億円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

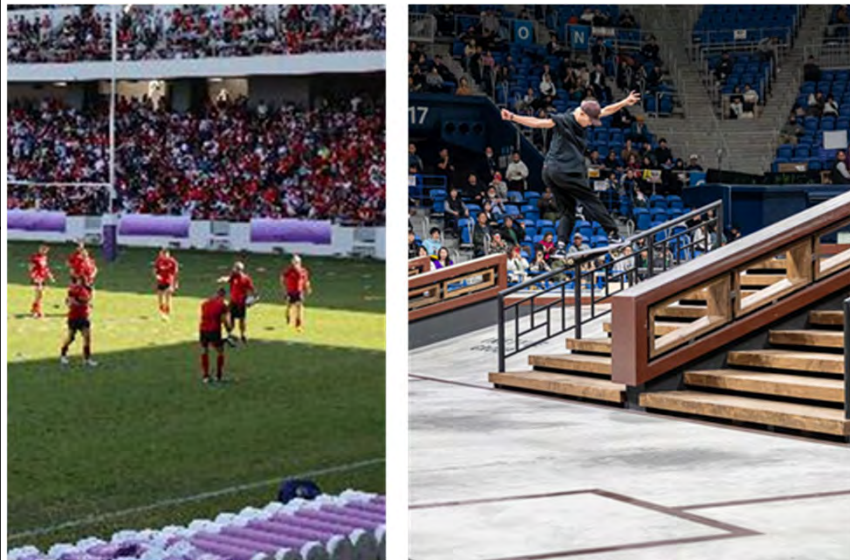
事業概要：北九州空港が国内外とつながり、街に交流と賑わいを生み出す
スカイゲートウェイ構築事業

継続

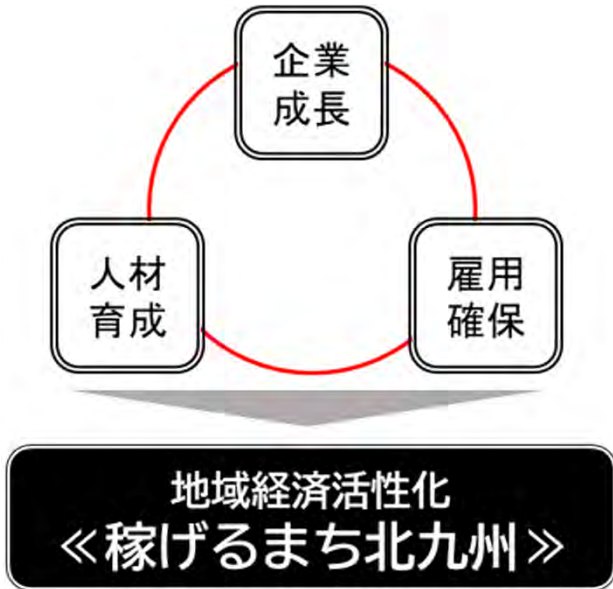
申請者	福岡県北九州市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	288,260千円 (65,800千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	北九州空港のゲートウェイ機能（路線の拡充、空港の魅力向上、空港アクセスの強化）を高め、より多くの人を呼び込み、交流人口の拡大と消費喚起・拡大の好循環を生み出す						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 新規就航路線の拡大を第一に、 ・事業1：北九州空港を起点に、福岡・大分・山口など広域的な観光資源も生かせるよう、マーケティング及びプロモーションを実施する ・事業2：観光需要を取り込んでいくため、空港も目的地の一つとする旅行客を生み出すため、旅客ターミナルの魅力向上を実施する。 ・事業3：市域内及び広域からの集客促進に向け、空港アクセスのアップデートに向けた実施検証としてエアポートバスの増便、最寄り駅への鉄道特急停車、シームレス決済など、アクセス利便性向上に取り組む実証事業を1年目に取り組み、アクセス体制の最適化を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・路線の拡充 ・マーケティング・プロモーションの支援 15,800千円 ・空港の魅力向上 ・空港におけるイベント実施等 50,000千円						
主なKPI	①就航路線数（+8路線） ②旅客利用者数（+825千人） ③空港来館者数（+989千人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

事業概要：スポーツを通じたまちのにぎわいづくり創造事業

継続

申請者	福岡県北九州市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	759,749千円 (250,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	大規模国際スポーツ大会等の誘致・開催を通して、市外・国外からの交流人口の増加を図り、まちの賑わいを創出するのに加え、エコフレンドリーで（地球にやさしく）、インクルーシブな（誰にでもやさしい）社会の実現などの、本市特有の新しい都市ブランディングを全世界に発信する。また、「日本一若者を応援するまち」北九州市が、「アーバンスポーツの聖地」を目指し、多くの若者の来訪によるまちのにぎわいづくりや、市民のアーバンスポーツへの理解促進、若者を応援する機運醸成に取り組む。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 国際大会の誘致やアーバンスポーツの聖地化を推進。規制緩和による競技・観戦環境の整備や世界選手権の開催を通じ、都市ブランドを世界へ発信。若者等の交流人口拡大と賑わい創出により、地方創生を加速する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・スポーツコミッション事業（負担金・委託料） 120,000千円 パラスポーツ大会や国際交流の実施、プロチームとの連携を通じた地域活性化。 ・アーバンスポーツ聖地化事業（負担金・委託料） 130,000千円 大規模国際大会の誘致・開催、ブランディング、聖地化に向けた調査研究の推進。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 主要な中心市街地の歩行者通行量（+18,479人） ② スポーツを身近に感じる市民の割合（+15.36%） ③ スポーツ実施率（+8.04%） ④ スポーツ観戦率（+12.00%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

申請者	福岡県北九州市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	82,282千円 (25,525千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	労働・子育て・健康のいずれの場面においても女性が希望する自らの在り方を実現できる環境を整備し、「女性に選ばれるまち・北九州市」を実現することで、北九州市に住む女性の増加・人口動態の改善・経済成長の実現につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 若年層を中心とした女性の社会動態を改善させるためには、労働・子育て・健康のいずれの場面においても、女性一人一人が希望する自らの在り方を実現できる環境を整備する必要がある。連動するこれらの課題について一体的に取り組むとともに、当事者である女性の視点から解決策を検討する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・女性の視点を生かした都市課題解決事業 ・プロジェクト運営経費（委託料、負担金）12,000千円 ・「子育て環境」支援事業 ・アンケート実施経費（委託料、役務費）2,218千円 ・子育て支援活動経費（補助金）2,000千円 ・人件費（報酬・職員手当・共済費）4,307千円 ・「女性の健康」支援事業 ・実態調査・啓発（委託料）3,000千円 ・セミナー開催費（委託料）2,000千円						
主なKPI	①社会動態改善数（+334人） ②健康経営を推進する市内企業等の数（+758団体） ③「子育てしやすいまち」と思う子育て当事者の割合（+1.5%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

申請者	福岡県北九州市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	574,354千円 (211,454千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地域経済を牽引する中核企業の意識改革と販路開拓支援により、企業の成長促進と規模拡大を図る ・リスキング、外国人材の活用、学生の市内定着の強化を通じ、持続的な労働力の確保と企業エンゲージメントの向上を実現する ・人的資本経営の推進やDX人材育成のエコサイクル構築により、企業の付加価値向上と地方創生の加速を目指す						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 中核企業の伴走支援、リスキングや外国人・学生の就業支援を推進。人的資本経営やDX人材育成のエコサイクル化を通じ、企業の成長と労働力確保を両立させ、地域経済の好循環と地方創生を加速する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・中核企業成長・人的資本経営支援（委託料） 21,000千円 地域中核企業への伴走支援、および人的資本経営の推進に向けた交流イベントの開催。 ・就職促進・定着・外国人材採用支援（委託料等） 56,000千円 体験型イベントや企業理解促進による市内定着支援、外国人材の雇用促進支援。 ・DX人材育成・リスキング推進（委託料） 37,500千円 リスキング支援、学生リーダーズ研修等のDX人材育成、首都圏でのプロモーション。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	【R8年度事業 経費内訳】 ①企業成長に取り組む企業数（+85社） ②リスキング実施人数（+1,100人） ③HP等の情報閲覧件数（+1,890件） ④DX推進リーダーの育成大学生数（+200人） ⑤U・Iターン就職決定者数（+800人） ⑥IT企業誘致における新規雇用創出数（+1,220人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

申請者	福岡県北九州市ほか17自治体					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	392,217千円 (126,017千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・関係人口の創出・拡大を通じて、北九州市への認知・関心を高め、地域との継続的な関わりを促進する。 ・多様な関わり方の選択肢や体験機会を提供することで、地域コミュニティへの参加や人材の裾野拡大につなげる。 ・人の流れとネットワークの形成により、地域の持続可能性を高め、地域経済の安定と国民の暮らしと安全を支える基盤強化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、移住・定住に限らない多様な関わり方を通じて関係人口の創出・拡大を図り、北九州市の持続的な発展につなげることを目的とする。認知度と魅力度の乖離、多様な関わり方の選択肢不足、場所的・時間的制約といった構造的課題に対応するため、積み上げ式の広報展開や北九州エリア全体でのイベント・体験型コンテンツを実施するとともに、関係人口向けのワンストップ型窓口を整備する。 また、首都圏でのイベント開催やネットワーク構築を通じて、地域との継続的な関与を促進し、人の流れとつながりを生み出すことで、地域コミュニティや地域経済を支える基盤強化を図る。					認知層 ↑ 関心喚起 ↓ 関心層 ↑ 行動のハードル低減 ↓ 関係人口 ↑ 継続的な関係形成 ↓ 継続・発展層 ・積み上げ式広報 ・SNS/動画発信 ・北九州エリア連携 ・イベント/マルシェ ・ツアーの実施 ・首都圏イベント ・双方向情報提供 ・地域イベント参加 ・文化/祭りへの関与 ・空き家DIY等の活動 ・趣味/推し活 ・リモート関与 ・ふるさと納税 ・関係人口同士のネットワーク ・首都圏交流コミュニティ ・プロジェクト参画	
	【R8年度事業 経費内訳】 ●北九州市情報発信、市（都市圏域）の認知度向上事業（委託料） 80,888千円 ●関係人口創出事業（委託料等） 30,129千円 ●首都圏関係人口創出・強化事業（委託料等） 15,000千円						
主なKPI	①地域へのUIターン数（+450人） ②北九州市の魅力度（+60位） ③相談件数（+750件） ④お試し暮らし事業利用者数（+84件） ⑤SNSのリーチ数（+27,000回） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

申請者	福岡県北九州市					初回採択回	令和8年1月募集									
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	296,452千円 (96,192千円)									
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業											
目的・効果	・地域団体の事務効率化や多様な主体の参画を促進するとともに、市民同士の「互助」が継続的に機能する仕組みを構築することで、安全・安心な暮らしの実現に向け、地域が必要と考える活動に主体的に取り組むことができる環境を整備する。 ・地域活動を通じて創出される価値を地域内に還元し、人材・活動・資金等が相互に循環する仕組みづくりを進めることにより、地域団体等が地域の実情や課題に応じて主体的に取組を展開し、財源の一部を自ら確保しながら活動を継続できる、持続可能なコミュニティ運営モデルの構築を目指す。 ・これらの取組を通じて、多様な主体と幅広い世代が参加するサステナブルな地域コミュニティ（互助が働きやすいまち）を形成し、人と人とのつながりを継続的に生み出すことで、市民の安全・安心や幸福感の向上を図る。															
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域コミュニティにおける人のつながりの創出や互助の促進に向けて、地域での団体間連携・マッチングの促進や地域活動を支えるデジタル環境の整備のため、地域情報の配信や参加しやすい互助の仕組みを備えたデジタルプラットフォームに関する調査研究およびモデル事業などを実施する。					多様な世代・団体が様々な形で人とつながり、 地域団体もいきいきと活動できる 未来の地域コミュニティづくりの好循環を生み出す 「多様な主体による 全世代参加型地域コミュニティ」へ 地域活動に必要な資源が 循環する仕組み ・活動のスリム化 ・地域活動による価値創出 など(R8予算措置なし) 地域課題の解決に 多様な主体の力を結集 ○未来の社会の創り手育成 ○多文化共生社会構築 ○シニアの担い手創出活躍事業 ○スマホ活用支援員養成 ○市民同士の「互助」が機能する デジタルプラットフォームの構築 「楽しさ」や「興味」から「やりがい」へ ○市民参加型のイベントを活用したまちづくり										
	【R8年度事業 経費内訳】 <table><tr><td>・市民同士の「互助」が機能するデジタルプラットフォームの構築</td><td>13,300千円</td></tr><tr><td>・市民参加型のイベントを活用したまちづくり</td><td>46,000千円</td></tr><tr><td>・未来の社会の創り手育成</td><td>6,892千円</td></tr><tr><td>・多文化共生社会構築</td><td>15,000千円</td></tr><tr><td>・シニアの担い手創出・活躍</td><td>12,000千円</td></tr><tr><td>・スマホ活用支援員養成</td><td>3,000千円</td></tr></table>							・市民同士の「互助」が機能するデジタルプラットフォームの構築	13,300千円	・市民参加型のイベントを活用したまちづくり	46,000千円	・未来の社会の創り手育成	6,892千円	・多文化共生社会構築	15,000千円	・シニアの担い手創出・活躍
・市民同士の「互助」が機能するデジタルプラットフォームの構築	13,300千円															
・市民参加型のイベントを活用したまちづくり	46,000千円															
・未来の社会の創り手育成	6,892千円															
・多文化共生社会構築	15,000千円															
・シニアの担い手創出・活躍	12,000千円															
・スマホ活用支援員養成	3,000千円															
主なKPI	①安全・安心に暮らせる拠点・環境（+80%） ②地域活動に参加したことがある市民の割合（+9.1%） ③年間のイベント参加者数（+20,000人） ④若者向けの講座・シンポジウムの参加者数（+150人） ⑤市民の「多文化共生」という言葉の認知度（+3.0%） ⑥デジタル活用支援員（仮称）の養成人数（+90人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL	令和8年9月公表予定									
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL										

事業概要： 美食を核とした観光都市プレゼンス向上事業

新規

申請者	福岡県北九州市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	484,400千円 (109,400千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・多様な食文化を磨き上げ、「美食のまち」としての都市イメージを確立し、来訪動機の強化を図る。 ・日帰り型から、夜の食体験や複数回飲食を前提とした滞在型へ転換し、宿泊者の飲食消費額と付加価値を高める。 ・訪日外国人の関心が高い日本食を軸に、美食体験と広域周遊導線を整備し、外国人宿泊者数の増加と経済波及を生み出す。 ・水産・飲食・観光等の事業者が連携する共同体を構築し、参画による成果を可視化することで、持続的な産業基盤を形成する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 多様な食文化を生かし、「美食」を核とした都市イメージの形成と滞在型観光への転換を図るため、すしを起点に市内に集積する多様な食の魅力を束ね、体験価値の向上を図る。 あわせて、美食イベントや体験型企画を実施し、SNS等を通じて国内外に発信するとともに、飲食店や水産関係者等が参画する共同体を構築する。さらに、多言語対応や広域周遊の取組を通じて、滞在を前提とした食体験と観光動線を整備する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・食イベントの開催 30,000千円（負担金） 地元食材を生かしたグルメ、食文化を体験できるイベントを開催等 ・食を活用した観光プロモーション等 30,400千円（負担金等） マイクロインフルエンサー等によるインバウンド向けプロモーション等 ・すしのゴールデンルート形成等（委託料等）20,500千円 富山県やJR西日本と連携して、すしなどの食の魅力を発信等						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①事業により創出される付加価値額（+13.1億円） ②1人あたりの観光消費額「飲食代」（宿泊者）（+1,020円） ③外国人宿泊者数（+18万人） ④共同体の会員企業数（+18社）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

事業概要：サステナブルシティの実現に向けた産学官民連携による共創のまちづくり

新規

申請者	福岡県北九州市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	362,444千円 (27,444千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・複雑化・多様化・急速化する地域課題に対し、市民の主体的な参画を促進し、地域全体の課題解決力の向上を図る。 ・従来の行政主導による産学官民連携の在り方を見直し、分野横断的な課題解決プロジェクトの場を整備・運用することで、多様な視点・知識・ノウハウを生かした新たな解決策を創出する。 ・本市の国内外におけるプレゼンスを高めることにより、市民のシビックプライドを醸成するとともに、投資の呼び込みを図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 複雑化・多様化・急速化する地域課題に対し、市民の参画率が低迷している現状を踏まえ、市民が主体的に関われるプロジェクトを実施し、意識変革および行動変容を促進する。あわせて、誰もが課題解決に参画できるオープンな場を整備することで、産学官民が連携した分野横断的な課題解決プロジェクトの創出を図る。さらに、市の魅力向上と国内外におけるプレゼンスの強化を通じて、市民のシビックプライドを醸成するとともに、国内外からヒト・モノ・カネを呼び込み、地域の持続可能な発展につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・市民や企業参加型のイベント等開催経費（委託料）5,000千円 ・課題解決を実践する市民にスポットをあてたプロジェクト経費（委託料）4,000千円 ・共創機関運営等費（委託料）7,444千円 ・情報発信等費（委託料）4,500千円 ・サステナブルな観光資源の検証および発信等費用（委託料）5,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①安全・安心に暮らせる拠点環境（+6%） ②社会課題を意識し、日常生活の中で解決に向けた行動に取り組む市民の割合（+29%） ③本事業で取り扱うプロジェクト数（+34件） ④本事業への参加企業数（+18社）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

事業概要：スタートアップ海外展開支援事業

継続

申請者	福岡県福岡市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	170,538千円 (56,876千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・海外展開を視野に入れる起業家の育成やスタートアップの創出を図る ・グローバルマインドの醸成や海外におけるビジネスノウハウを習得することで、効果的なビジネスマッチングにつなげ、海外におけるビジネス成立案件を創出する ・海外で活躍するスタートアップを創出し、海外の需要を取り込むことを目指す						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・海外展開を視野に入れた起業家の育成と、スタートアップに対する海外展開支援を実施 ・海外展開プロセスの習得や個別メンタリングを通じて、海外でのネットワークづくりやマーケティング、ビジネスノウハウ等を習得し、海外スタートアップイベントに参加時等に効果的なビジネスマッチングにつなげるための事業を実施する。また、有望な研究シーズ・スタートアップに対し、海外展開に向けた継続的なメンタリング及びビジネスマッチングを実施する						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・海外展開支援プログラム（委託料）26,786千円 ・グローバルアクセラレーションプログラム（委託料）29,876千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①プログラムを通じた海外ビジネス成立件数（+2件） ②プログラムを通じたビジネスマッチング件数（+20件） ③海外アクセラレーターと連携したプログラムへの参加件数（+15件） ④海外展開に向けた相談対応件数（+90件） ⑤海外の投資家、アクセラレーター、スタートアップ等の誘致件数（+6件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.fukuoka.lg.jp/keizai/r-support/business/R7nd/2025overseasexpansionprogram002.html ※上記は令和7年度事業分であり令和8年度分は令和8年7月公開予定

申請者	福岡県福岡市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	70,653千円 (23,551千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	善意で取り組むボランティア活動に対してポイントを付与、地域活動を見える化することで、地域活動を担う人材の発掘や、市民、企業、NPO法人等多様な主体が地域全体で支えあう関係の構築を支援し、地域活動の活性化及び担い手の育成につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 善意で取り組むボランティア活動に対してポイントを付与、地域活動を見える化することで、地域活動を担う人材の発掘や、市民、企業、NPO法人等多様な主体が地域全体で支えあう関係の構築を支援し、地域活動の活性化及び担い手の育成につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 ・「ふくおかポイント」アプリおよび管理システムの機能強化（委託料）22,572千円 ・機能強化の具体化に向けた多様な主体へのヒアリング（報償費）979千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市民によるNPO・ボランティア活動などへの参加率（+2.37%） ②新たに地域活動へ貢献した企業等の数（+60事業者） ③地域社会のボランティア活動に参加してポイントを付与された人数（+65,000人） ④本事業の導入小学校区数（+76校区） ⑤刑法犯認知件数（▲2,310件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.fukuoka.lg.jp/soki/kikaku/shisei/fukuoka_point.html

事業概要：アーティスト・カフェ・フクオカ拡張事業

継続

申請者	福岡県福岡市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	532,169千円 (56,735千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	アーティストの成長・交流拠点「Artist Cafe Fukuoka」を拡張し、アーティストからの相談や企業とのマッチング、アーティスト同士や市民との交流を促すイベント、レジデンス事業をはじめとした滞在アーティストの制作・展示など、施設の機能充実を図ることで、まちづくりにおいて、アートやアーティストが活躍する機会を増やす。 市民のwell-beingの向上を目指すとともに、国内外のクリエイティブ企業に選ばれる都市になる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 統廃合した中学校跡の校舎を活用し、令和4年度に開設したアーティストの成長・交流拠点「Artist Cafe Fukuoka」は、開設から2年半の活動で認知度も上がり、利用ニーズも高まってきたが、施設のスペースが限られ十分なアーティストの成長支援が実施できていない。そこで、統廃合後10年近く倉庫としてのみ利用していた校舎を改修し、本施設の拡張を図るとともに、新しい育成プログラムを実施しアーティストの支援を強化するもの。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・アーティスト育成・工房運営支援（負担金） 21,960千円 滞在中スタジオを活用した育成事業、および制作工房の工作機械の安全講習・保守点検。 ○拠点整備事業 ・アーティスト成長拠点の拡張（校舎改修） 34,775千円 統廃合された中学校跡の校舎を改修し、成長・交流拠点を拡張するための建築工事および備品整備。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①アーティストと企業のマッチング数（+30件） ②Artist Cafe Fukuokaへの来場者数（+4千人） ③滞在制作するアーティスト数（+32件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

事業概要：みどりあふれるまちなか推進事業

継続

申請者	福岡県福岡市						初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,004,421千円 (522,142千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	・価値観が多様化する現代社会において、東京一極集中を脱すべく、みどりと都市との調和という観点で国内外の人や企業を惹きつける特色ある地方都市となる。 ・花卉産業の振興や「花による共創のまちづくり」を進め、花やみどりによる潤いによってWell-beingの推進をはかり、安心して働き、暮らせる環境を構築するとともに、花による広域リージョン連携を目指す。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 花や緑などによる潤いや安らぎを感じるまちづくりを進めるため、公共性・視認性の高い緑化に取り組む事業者に対しての助成や、花をテーマとしたMICEである「Fukuoka Flower Show」の開催、居心地の良い空間を創出するための公園再整備などを行う。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・民有地における緑化推進に係る助成事業 ・各事業者に対する助成金（補助金） 108,915千円 ・Fukuoka Flower Show 2027の開催 ・開催経費 223,215千円 ・コンテスト優勝者のガーデン展示 20,000千円 ○拠点整備事業 ・官民連携による音羽公園の再整備工事 ・整備工事費 170,012千円						 音羽公園のイメージパース 大和リース株式会社 福岡支社 提供	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+6,312億円） ②入込観光客数（+520万人） ③国際会議の開催件数（+396件） ④都心部の花や緑が豊かであると感じている市民の割合（+17.6%） ⑤都心部の緑被率（+2.64ha） ⑥新たに壁面緑化等を実装した民間ビル等の数（75棟）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	【民有地における緑化推進に係る助成事業】 https://www.city.fukuoka.lg.jp/jutaku-toshi/midorisuishin/midori/menu1/greenbuil.html 【Fukuoka Flower Show 2027の開催】 https://fukuokaflowershow.com/ 【官民連携による音羽公園の再整備工事】 https://www.city.fukuoka.lg.jp/jutaku-toshi/park-pfi/shisei/otowa_seibikannriunneijigyou.html

事業概要：選ばれるマチとシゴトに向けた魅力向上・プロモーション事業

継続

申請者	福岡県大牟田市					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	198,633千円 (87,933千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	若者や官民連携組織との連携・協働によるまちなか活性化や、新商品や観光に係る体験プログラム等の開発による選ばれるモノ・コトの創出に取り組み、若者がいきいきと活躍する姿等を積極的にプロモーションするとともに、地域企業への就業促進するための取組を展開することで、移住・定住の促進を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 様々なヒトによるまちづくりの機運が醸成されつつあるタイミングを逃さず、様々な主体との協働・連携により、今まで培ってきた本市の魅力を磨き上げ、まちなか活性化や選ばれるモノ・コトの創出を推進するとともに、積極的なプロモーションを展開することにより、「若い世代に選ばれるまちおおむた」の実現に向け、まち全体をリ・デザインし、移住・定住や地域企業への就職の促進を図る。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・まちなか活性化推進事業 61,533千円 エリアマネジメントの組織構築や社会実験、空き店舗・空き家の利活用や除却の実施。 ・マチ・シゴトのプロモーション 13,100千円 魅力発信サイトの運営、および合同説明会等の開催を通じた地域企業への就職促進。 ・選ばれるモノ・コトの創出 12,300千円 専門家による商品開発・販路開拓支援や、体験プログラムの開発・プロモーションの展開。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①相談対応を行った者のうち、本市へ移住した件数(+80件) ②企業の合同による面談会及び会社説明会の来場者数 (+480人) ③テレビや雑誌で紹介された件数 (+400件) ④新たに創出・魅力向上した商品・サービス・イベント等の件数 (+24件)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.omuta.lg.jp/list00990.html

事業概要：大牟田市動物園を核とした延命公園周辺エリアの魅力向上事業

継続

申請者	福岡県大牟田市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	855,002千円 (478,689千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	延命公園周辺エリア内にある「大牟田市動物園」及び「御大典記念グラウンド」の整備、及び市内の周遊性を高める取組を推進することで、観光消費額の増加を図る。 動物園及び御大典記念グラウンドの魅力を向上させ、来園者・利用者の増を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 大牟田市動物園の園舎整備及び御大典記念グラウンドの整備を行うとともに「回遊促進のためのまちの魅力アップと市内外へのプロモーション」などを行い、延命公園周辺エリアの魅力を向上することで、来園者・利用者増および観光消費額の増加を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・魅力発信・スポーツ交流事業（委託料等） 14,716千円 HP・パンフレット作成等の広報、情報発信拠点運営、トップレベル選手の誘致・交流。 ・ライティング設備整備（委託料等） 20,000千円 回遊性向上を図るための、ライティング手法を取り入れたライトアップ設備の設計・設置。 ・動物園拠点整備事業（施設整備） 443,973千円 動物園の園舎整備およびデジタルサイネージ設置による、拠点および周辺エリアの魅力向上。						
主なKPI	①地域における観光消費額（+2.1億円） ②動物園への来園者数（+15,000人） ③実施するイベントへの参加人数（+1,680人） ④動物園の売り上げ（+1.3億円） ⑤御大典記念グラウンドの年間利用者数（+10,324人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.omuta.lg.jp/list00990.html

事業概要：公民学連携による大牟田駅遊休地を活用した新たなまちの魅力・賑わい創出事業

新規

申請者	福岡県大牟田市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	79,276千円 (75,276千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・JR貨物線路跡地を若い世代が集い、交流するスペースとして整備し、学識経験者やまちづくりの専門家、多様なプレーヤーが参画する公・民・学連携組織の(一社)アーバンデザインセンター（UDC）が社会実験の場として活用することで、新たな魅力や賑わいの創出を図る。 ・大牟田駅周辺に新しい大牟田の「顔」を作ること、市内周遊や域内消費へつなげるとともに、当該エリアの新たな可能性や価値を向上させ、民間投資意欲の向上を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、長らく遊休地化していた大牟田駅JR貨物線路跡地を借り受け、市による整備事業を行い、UDCによる社会実験の場としてコンテナ等を設置し、企業誘致やカフェ等のオープンを進め、駅に集う若い世代がより滞在し、交流できる空間への転換を図り、新たな魅力や賑わいの創出、さらにはUDCの収益の柱となる事業化を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・駅周辺を含めた市の魅力を発信するため、テレビやwebを活用したプロモーションの実施（委託費等）1,800千円(委託料：人件費、需用費、報償費等) ・事業者アンケート(委託費等)2,000千円(委託料：人件費、需用費、報償費等) ○拠点整備事業 ・JR貨物線路跡地における外構整備及び整地 71,476千円						
主なKPI	①観光消費額（+197,545千円） ②平均滞在時間（+50分/1人） ③エリアへの来場者数（+2,400人） ④イベントの開催数（+22回） ⑤駅からエリアへの回遊（+24人） ⑥民間の投資意欲（+20件） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL	令和9年9月公表予定
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

申請者	福岡県久留米市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	547,184千円 (150,990千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	市内企業の労働環境向上や、女性の活躍に繋がる各種取組によって、働きやすいまち久留米を目指す。 拠点施設の整備・改修や活動支援等により、市民誰もが文化・芸術・スポーツに触れ楽しむ機会を確保する。 市の拠点文化施設や地域資源を併せてブラッシュアップしながら、観光コンテンツとして効果的な事業展開を図ることで、新たな人の流れを作るとともに、地域としてのウェルビーイングの向上を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 若者や女性に選ばれる魅力的な地域を形成するため、働きやすさ等の促進を図るとともに、楽しく豊かに暮らせる環境づくりとして拠点文化施設の整備を行う。また、文化・芸術・スポーツ等あらゆる分野で事業の拡充等を図りながら、市内外に向けた魅力あるコンテンツの創出と情報発信していく。					目指す将来像 若者や女性が自分らしく輝き、活躍できる環境をつくりながら、文化・芸術・スポーツに触れる機会を充実することで、ウェルビーイングの実現と新たな人の流れを生み出す。 ウェルビーイングな地域づくり 若者・女性の活躍（魅力ある職場づくり） 若者や女性の活躍や成長の場としての魅力向上を図る 若者の就職支援 + 女性の活躍促進 魅力発信 文化・芸術に触れる機会（日常を豊かに） 拠点文化施設等の改修（施設の魅力向上） + 魅力ある文化事業の展開 魅力発信 新たな人の流れ創出！ 地域資源を活かした魅力の創出 新たな賑わいづくり コンテンツの創出 (観光・スポーツ大会等)	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・若者・女性の活躍促進と雇用の場の確保 ・ワークライフバランスの促進（補助金）1,600千円 ・地域資源を活かした市外からの誘客促進 ・新たな人の流れをつくるイベント補助金 12,000千円 ・人を呼び込むための久留米の魅力発信 ・インフルエンサーを活用した観光PR（委託料）3,600千円						
主なKPI	①労働者数（+3,111人） ②市中心部文化施設利用者数（+10,000人） ③直近1年で文化芸術に関する鑑賞や活動した市民の割合（+2.5%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kurume.fukuoka.jp/1100keikaku/2045keikaku/3015sousen/

申請者	福岡県久留米市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	344,420千円 (104,781千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	若者や女性にも選ばれる地域を実現するため、地域経済が活力にあふれ、競争力を持ち、新たな価値を生み出していく好循環の実現を目指す。 経済活動の核となる中心部施設の整備を進めることで経済を活性化と賑わいを創出し、地域経済の好循環を生み出す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 中小企業のDXや専門家伴走支援、企業誘致を通じて地場産業の競争力を強化する。また、農業の6次産業化や遊休農地解消、担い手育成により持続可能な生産基盤を整備。さらに西鉄久留米駅周辺の再開発やMICE誘致を推進する。多角的な支援と拠点整備により、雇用の創出と地域経済の好循環を生み、持続的な成長を実現する。					方向性 若者・女性に選ばれる地域づくり 産業イノベーションを誘発 生産人口減少の抑制 若者・女性の定住・移住 企業誘致推進、 地域企業の成長 イノベーション創出 核となる拠点整備 地域経済の活性化、 地域産業の魅力向上 好循環	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・企業の付加価値の向上支援 ・中小企業成長経営支援委託料 8,500千円 ・中小企業海外展開支援負担金 500千円 ・雇用の場の確保 ・都市圏での企業誘致展示会 2,632千円 ・農業の魅力向上 ・6次産業化等チャレンジ支援補助金 2,600千円 ・農産物の海外輸出支援補助金 600千円 ・経済の核となる中心拠点整備 ・再開発推進計画作成業務委託 21,600千円						
主なKPI	①労働者数（+3,111人） ②農業産出額（+1.5億円） ③中心市街地における歩行者通行量（+8,303人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kurume.fukuoka.jp/1100keikaku/2045keikaku/3015sousen/

申請者	福岡県久留米市ほか5自治体					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,338,105千円 (254,767千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・久留米圏域への来訪者獲得に向けて、広域拠点として久留米市への来訪者増を図る。 ・構成市町の魅力を磨き上げ、回遊性を向上させ、圏域滞在時間の延長を目指す。 ・地場企業の生き残りをかけて、観光を切り口にした特産物のマーケット確保を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 県内は観光地としての認知度が低く、入込客数や宿泊者数もコロナ前まで回復していない。久留米市の都市機能と各市町の資源を活用し回遊性を高めるとともに、新たな魅力の掘り起こしや一体的な情報発信により観光の魅力向上を図る。さらに、受入環境の充実や滞在型観光の促進にも取り組み、観光消費額の拡大と地域経済の活性化につなげていく。					目指す将来像 ➢ 久留米市の都市機能の発揮と圏域市町が持つ多様な資源を磨き上げる。 ➢ 久留米圏域が持つ多様な資源をつなぎ、回遊性を向上させ、圏域への滞在人口の延長を目指す。 ➢ 飲食・宿泊・小売・農業も含んだ幅広い業種の底上げにつなげていく。	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○体験型観光造成の取組・地域資源の魅力を磨き上げ（88,056千円） ・石橋文化センターライトアップ（補助金）20,000千円 ・まちの特性を活かした産業観光のグローバル化推進（補助金）16,500千円 ○圏域の中心拠点として観光をつなぐ取組（38,414千円） ・圏域が持続可能な発展を続けていくための道路網の構築検討（委託料）21,240千円 ○情報発信とシティプロモーション、マーケット拡大に向けた取組（112,987千円） ・インバウンド来訪者獲得のためのプロモーションを実施（委託料）21,200千円 ○道の駅うきはユニバーサルデザイン推進事業（施設整備費）15,310千円					連携事業スキーム 	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①圏域目標人口と推計人口の比較（+8,121人） ②圏域の総生産額（+895億円） ③観光入込客数（+837千人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(久留米市) https://www.city.kurume.fukuoka.jp/1100keikaku/2045keikaku/3015sousen/ (大川市) https://www.city.okawa.lg.jp/s007/010/020/020/20160225145825.html (小郡市) https://www.city.ogori.fukuoka.jp/1139/1146/1207 (うきは市) https://www.city.ukiha.fukuoka.jp/list00232.html (大刀洗町) https://www.town.tachiarai.fukuoka.jp/page/page_01323.html (大木町) http://www.town.ooki.lg.jp/kankyo/jitisoukoukeikaku/7673.html

申請者	福岡県久留米市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	10,135千円 (3,903千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・市内4つ高等教育機関が持つ知的資源や人的資源を活用し、貴重な地域資源でもある伝統地場産業の活性化を目指す。 ・最先端技術と研究を応用し、久留米絣に関わる事業者に短期的、中長期的に産業やビジネスの拡大と経済波及効果、新たな価値の創造を目指す。 ・大学生の若い視点での製品開発や普及啓発により、若年層の久留米絣に興味関心を持つ機会を設け、若手人材の確保を目指すとともに、久留米絣の産業力の強化はもとより観光資源としての活用など、あらゆる分野での相乗効果により、地方創生を実現させる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ①久留米絣の普及啓発「コンソdeかすりファッション」 各高等教育機関の特色を活かした久留米絣の衣服の製作および研究成果をふまえた商品開発を行う。 ②久留米絣の睡眠効果とリラクゼーション効果の客観的評価 久留米絣の特性が人々の健康および心理的側面に及ぼす効果を科学的に検証し、現代社会に適用可能な新しい価値を創出する。 ③最先端技術を用いた久留米絣の新たな魅力創成とその見える化 学生が生成AIを用いて自分好みの久留米絣のデザインを作成し、愛着や若年層向けのデザインを制作する。 ④高専の特色を活かした、学生主体による「もの作り」と「こと作り」 織物の卓上体験機やプログラミングを活用したデザイン制作プログラムの開発を行う。					<pre>graph BT; A[久留米大学、久留米工業大学、聖マリア学院大学、久留米高専] --> B[最新技術の活用
(AI、織機の開発)]; A --> C[医学的効果の検証]; A --> D[若者による商品開発、普及振興]; B --> E[イノベーション、新たな付加価値の創出]; C --> E; D --> F[若年層の興味関心]; E --> G[購買層の拡大・若手人材の獲得]; F --> G; G --> H[久留米絣産業全体の成長];</pre>	
	【R8年度事業 経費内訳】 久留米絣の新たな価値創造、商品開発支援（補助金） 3,903千円 ・久留米絣の普及啓発「コンソdeかすりファッション」 ・久留米絣の睡眠効果とリラクゼーション効果の客観的評価 ・最先端技術を用いた久留米絣の新たな魅力創成とその見える化 ・高専の特色を活かした、学生主体による「もの作り」と「こと作り」						
主なKPI	①観光入込客数（+40万人） ②若手人材の獲得（+6人） ②久留米絣大博覧会売上額（+1,000万円） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kurume.fukuoka.jp/1100keikaku/2045keikaku/3015sousen/